

J Aグループ鳥取自己改革推進レポート（3月号）

1. J Aグループ鳥取の取り組み

持続的なJ A営農指導の機能強化へ 県下営農指導事業実践発表会

J A鳥取県中央会は3月16日、倉吉市で県下営農指導事業実践発表会を開いた。県内のJ A営農指導員6人が農業振興の取り組みや多様化する組合員のニーズに対応する日頃の営農指導について発表。J A鳥取西部弓浜営農センターの橋田佳明さんが最優秀賞に輝いた。県内J AなどをWEB接続して実施し、約40人が参加した。



橋田さんは、J A鳥取西部管内のブランド白ネギ「伯州美人」の産地振興の取り組みを紹介。持続的な生産基盤強化に向け、生産者や行政を巻き込んだプロジェクトチームの設置や生産者へのアンケート調査などの取り組みを発表した。橋田さんは島根県で開かれる中国地区J A営農指導員交流集会に県代表として出場する。

その他の受賞は次の通り（カッコ内はJ A名）。

優秀賞＝辰己広樹（鳥取いなば）、矢部立樹（同）、増田尚之（J A鳥取中央）、植田純基（同）、大武優子（鳥取西部）

2. JA全農とっりの取り組み

太田胃散 WEB 動画で「白ネギ」「ねばりっこ」をPR

この度、太田胃散より鳥取県へ動画サイト「太田胃散のYouTube クッキング動画」への特産品の投稿依頼があり、本会が対応することとなった。

「太田胃にゃん」という三毛猫のキャラクターが料理を行う動画で、旬の鳥取県産「白ネギ」「ねばりっこ」を使ったレシピを紹介。産地紹介では生産者の方にも出演していただき、「白ネギ」と「ねばりっこ」をしっかりとPRした。引き続き、多くの方々へ鳥取のおいしい県産品を知っていただけるよう情報発信を行っていく。



3. JA鳥取信連の取り組み

JAマイカーローン特別金利キャンペーン

JAマイカーローンは、住宅ローンに次ぐJAバンクローンの主力商品であり、次世代対策や生活メイン化の入口として積極的な取り組みが必要な商品だ。

JAバンク鳥取では、2022年2月1日から10月31日までの9ヵ月間をローン残高純増ならびに若年層を中心とした顧客基盤の拡充期間と位置づけ、「JAマイカーローン特別金利キャンペーン」として取り組んでいる。

マイカーローンを推進する場合、大学生や短大生のお子さまを持つご家庭については「卒業はいつか」「Uターン就職の希望はあるか」などを事前に情報収集、お子さまの就職先が決まっているのであれば、通勤方法についてヒアリングし、マイカー通勤を予定しているのであれば、車を購入する希望があるのか会話を展開するなどし、ローンニーズが見込まれるお客様に対して必ず声かけを行い、一人でも多くの利用者に満足いただけるよう取り組んでいく。

(※) JA鳥取いなばでは、期間を定めた“特別金利キャンペーン”は行っておりません。

4. JA共済連鳥取の取り組み

JA共済の地域貢献活動をメディアでPR

JA共済では、組合員・利用者の皆さまが、住み慣れた地域で健康で安心して暮らせる豊かな環境づくりに貢献するため、さまざまな地域貢献活動に取り組んでいる。

地域貢献活動の一環である、災害救援活動の取り組みについて、テレビ・新聞で広くPRを行った。

今後も、さまざまなメディアを活用し、JA共済の地域貢献活動をPRしていく。

放映・掲載日	媒体	内容
令和4年2月12日(土)	テレビ	日本海テレビ「スパイス!!」の情報コーナー生出演
令和4年2月13日(日)	新聞	日本海新聞の「雪害を考える」特集記事にて災害救援活動・復興支援の取り組みについて紹介

【日本海テレビ出演風景】



【日本海新聞掲載記事】



以上